



特集

●ISO 20252:2026(第4版)が発行されました！

TOPICS

- 受付開始！ JMRA アニュアル・カンファレンス 2026
委員会セッションのご案内
- 開催報告：新産業ビジョンを受けた事業戦略討論会

Vol.107

2026/9/15 配信

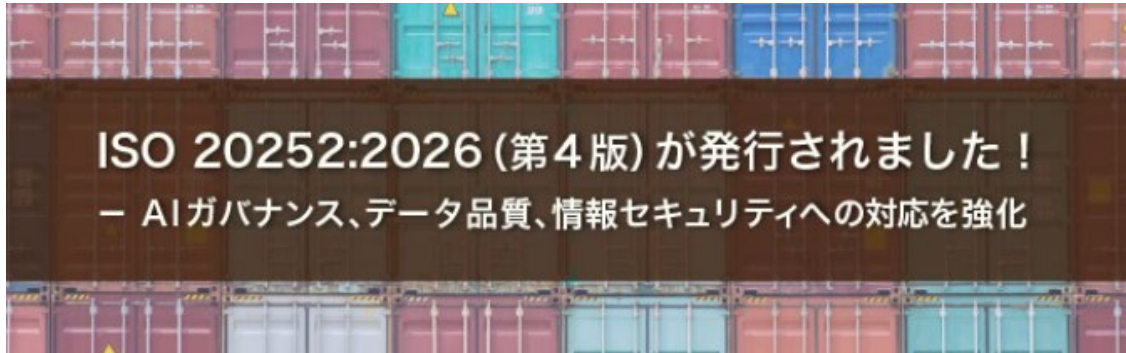
9月も半ばを迎えましたが、まだまだ厳しい残暑が続き、秋の訪れが待ち遠しい頃となりました。一方で、これからは各地で展示会やカンファレンスなどが活発になる季節でもあります。

JMRAでも、10月22日(木)に「JMRA アニュアル・カンファレンス 2026」をベルサール渋谷ファーストにて開催します。今年のテーマは「OPEN INSIGHT」。青山学院大学・原晋監督による基調講演をはじめ、リサーチの枠を越え、生活者への理解をいかに新たな価値や意思決定につなげていくかを考える、多彩なセッションを予定しています。

マーケティング・リサーチから「インサイト産業」へ——。その可能性やこれからの姿について考える機会として、今から期待が高まります。今月号も、JMRAの取り組みとともに最新の業界情報をお届けします。

<JMRA ウェブ・メルマガ委員会>

特 集



ISO 2052:2026 (第 4 版) が発行されました！

AI ガバナンス、データ品質、 情報セキュリティへの対応を強化

2026 年 9 月 1 日、市場・世論・社会調査の国際的な品質管理規格である ISO 2052 (Market, opinion and social research, including insights and data analytics – Vocabulary and service requirements) の第 4 版が発行されました。これを受け、日本でも JIS Y 2052 の改正に向けた検討が進められており、年内または 2027 年の早い時期に新版が発行される予定です。
今回の改訂のポイントは、大きく次の 3 点に集約されます。

- 1) AI 及び関連技術への対応 (AI ガバナンス)
- 2) データ品質管理及び不正対策の強化
- 3) 情報セキュリティの強化

急速に変化する市場環境に対応して規格が更新されたことにより、調査・インサイト産業に対する社会的信頼がさらに高まることが期待されます。
なかでも AI ガバナンスについては、技術や利用環境が急速に変化しているため、今回の改訂だけですべての課題への対応が完結するものではありません。今後も必要に応じて「ガイドライン」等を整備し、実務上の考え方を整理・明確化していくこととなります。
新版の JIS Y 2052 に基づく認証審査は、2027 年 4 月の開始を目標としています。既に認証を取得している組織におかれては、その後 3 年以内に新版への移行審査を受けていただく予定です。

[詳しくはこちら](#)

TOPICS



受付開始！ JMRA アニュアル・カンファレンス 2026 委員会セッションのご案内

2026 年 10 月 22 日(木)にベルサール渋谷ファーストにて開催する「JMRA アニュアル・カンファレンス 2026」。JMRA の各委員会によるセッションを一部ご紹介します。その他セッションにつきましても、特設サイトにてご案内しております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

■探究がデータ価値最大化産業を拡張する

～ビジョン実現へ向けた業界変化の今を紹介～／16:50～17:50

JMRA「新産業ビジョン」で宣言したリサーチ産業の拡張フェーズは、すでに始まっています。探究が問いを生み、AI で業務プロセスを洗練する、データ価値の最大化がマーケティング・リサーチ産業の前提になりました。

本セッションでは、JMRA 新産業ビジョンの目指すカタチのもと、課題の捉え方、問いの設計、組織の共通言語化、未来像の共創、事業具体化まで広がるリサーチの新しい役割を示します。さらに、会員各社の取り組みをソリューションマップとして整理し、産業の拡張が社会と企業にもたらす価値を端的に提示します。

■AI 時代のリサーチの未来を守る

インターネット調査サステナブル宣言／15:00～15:40

AI 時代においてもリサーチデータの重要性は変わりません。しかし、その源泉となるインターネット調査のモニターの維持はますます厳しさを増しており、このままではインターネット調査が継続できなくなる危機的な状況にあります。

リサーチの未来を守るために、リサーチャー、営業、クライアント、それぞれが従来の常識を変え、業界全体での変革が必要です。

これからの時代に私たちが守るべき指針と具体的なアクションを「インターネット調査サステナブル宣言」として各社メンバーの生の声も交えて紹介します。

[詳しくはこちら](#)

TOPICS



開催報告:新産業ビジョンを受けた事業戦略討論会 (2026 年 8 月 4 日)

この討論会(ウェビナー)は、2026 年 5 月 12 日付メルマガ掲載の「JMRA 創立 50 周年記念特別企画『調査会社トップに聞く:新産業ビジョン後の事業戦略』インタビューのまとめと産業の展望私論」の内容をテーマに、AI によるビジネスの変革が進む中で、当業界企業にとってどのような事業機会があるのかを議論し、視聴者の皆さんが自社のビジネス変革を考える契機となることを目的に開催しました。

登壇いただいたのは、株式会社クロス・マーケティング インサイトコンサルティング 部長の高木敬太氏、株式会社プラグ 代表取締役・JMRA 理事の小川亮氏、株式会社ボストン・コンサルティング・グループ アソシエイト・ディレクターの中野佑香氏の御三方です。また、司会は JMRA リサーチ・イノベーション部会委員の高橋直樹氏が務められました。

討論では、御三方それぞれの経験や立場を踏まえ、AI による変化や今後の事業機会について幅広い意見が交わされました。当日の記録動画も公開していますので、こちらもぜひご視聴ください。

[詳しくはこちら](#)

TOPICS

第1回 クイックルワイパー開発者が語る “挑戦のリアル”。最後に信じたのは「顧客の声」

『多様なマーケティング・リサーチの新潮流に触れる -著者が語るシリーズ 2026 セミナー-』の第1回では、花王「クイックルワイパー」の開発者であり、『6200万本売れた「ダメ出し商品」 花王「クイックルワイパー」誕生の大逆転物語』の著者、花王株式会社 研究開発部門 特命フェローの塗谷弘太郎氏にご登壇いただきました。社内から何度も「ダメ出し」を受けながら6年半にわたる開発を続け、最後に信じた「顧客の声」を力に新しい市場を切り拓いた挑戦の舞台裏をお話いただきました。

[詳しくはこちら](#)

連 載

JMRA マーケティングデータ・ストレージ ピックアップセレクション

最近 JMRA マーケティングデータ・ストレージに掲載された会員社の自主調査から、ウェブ・メルマガ委員会が精選した自主調査をご紹介します。



今月の注目調査

●「タイパ疲れ」が生み出す「メンパ・ムダパ」需要とは？ 夏のレジャーから見た消費者心理

(2026.8.13 (株)マクロミル)

こちらの記事は夏のレジャー調査を通



今月の注目調査

●【在日外国人 400 人に調査】日本の各商品・サービスの価格上昇を感じている割合は？

(2026.9.4 (株)アスマーク)

こちらの記事は在日外国人 400 人へ

じ、移動は効率化しつつ現地では心の充足(メンパ)や余白(ムダパ)を楽しむという新たな消費者心理を紐解いたレポートです。効率重視の「タイパ」が定着する反面、「タイパ疲れ」も生じていることが分かります。

詳しくはこちら (JMRA マーケティングデータ・ストレージ)

「日本の商品・サービス価格への意識や対策、見通し」を調査したレポートです。外食・テイクアウトの価格上昇が最も警戒されており、生活防衛策として安価なものを探したり利用を減らす傾向が見られています。

詳しくはこちら (JMRA マーケティングデータ・ストレージ)

連 載



シンギュラリティ観察ネコ日記

第2回: いよいよセミナー開催するぞ。シャー。

JMRA に 2026 年度より新設された「教育研修委員会 業務 AI 活用教育部会」(略称: AI 教育部会)より連載日記「シンギュラリティ観察ネコ日記」をお届けします。本日記では AI への筆者の思いと「AI 教育部会」活動を告知していきます。勢いで始まったこの連載だが、連載なのだから全体の構成を考えて書くべきでは？という気持ちにもなる。とはいえ、こんなところで教科書を書いても仕方ないし、あまり面白くない気がするので、勢いのまま続けて書くぞ。シャー。

第2回の日記では、記憶に新しい北京で行われた「世界人型ロボット運動会」での100メートル走のタイム(8秒64)をはじめとしたAIの進化、そしてEUのAI規制法(EU AI Act)の新たな適用段階へ移行といった進化と規制を前提に置きつつ、避けては通れない業務へのAI利活用とどう向き合うべきか——「マーケティング課題解決のためのAI協働トレーニング講座」にも繋がる内容となっています。ぜひご覧ください。

具体的なセミナーのご案内は本メルマガ内(少し下にスクロール)でもご案内しています。

[詳しくはこちら](#)

教育講座・セミナー案内



●マーケティング・リサーチ ベーシックコース(秋季)

(本講座は春開講と同内容となります)

本講座は、初めてマーケティング・リサーチ業務に接する人から3年程度の業務経験を重ねた方の、リサーチの全体像の知識取得と理解を目標として開講するものです。

講座の内容は、マーケティング・リサーチの基本である、定量調査と定性調査の基礎を理解し、マーケティング・リサーチの全体を俯瞰して体系的に学びます。そのうえで、調査の各工程は有機的に結合し、ある工程の成果は次の工程に大きく影響することを踏まえて、各工程に従事する人が、調査の全工程を含む知識を有することが出来るものとなっています。

また、定量調査の解説に多くの事例を紹介し、より理解しやすくなるように編集をいたしております。

マーケティング・リサーチの実務を担当して日の浅い方や調査の基本を知りたい方、また、調査の営業・企画担当者に受講をお勧めします。

・日程(視聴期間):2026年9月1日(火)10:00～10月31日(土)17:00まで

・会場:オンデマンド+フォローアップ講座

[詳しくはこちら](#)



●セミナー委員会主催セミナー:著者が語るシリーズ 2026

第2回 頭のいいマーケティングリサーチヤーの生成 AI 活用法
～最新技術を実務に活かす～

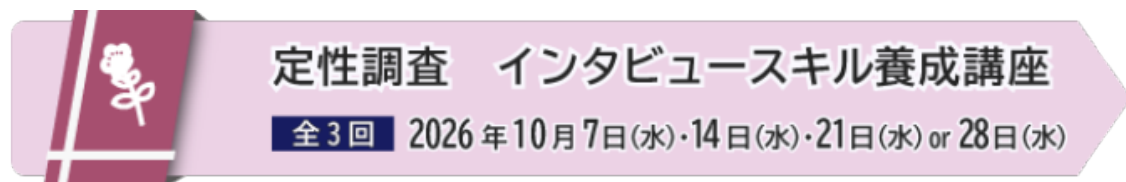
生成 AI を仕事の相棒として使いこなすための実践書です。プロンプト作成、企画・ブレスト、資料作成、データ分析、情報の可視化、プログラミング、GPTs 活用まで、具体例を通じて効率化と思考支援のコツを学べる一冊です。

AI と働く時代。初心者にもわかりやすく、人より一歩先いく「AI との付き合い方・考え方」が身につく、今日から実務へ応用できます。

・日程(ライブ配信): 2026 年 9 月 29 日(火) 12:00～13:00

・会場: Zoom ウェビナー

[詳しくはこちら](#)



●定性調査インタビュースキル養成講座

AI でのインタビューの研究も進んでいますが、まだ、人の内面の深いところに保存されている体験記憶、自分も他人も気付かないインサイトに到達するためには、人間の力が必要です。

本講座は、より精度の高い定性情報を作り出す定性インタビューのスキルを座学と実践で学んでいただくためのものです。

本講座は、第 1 回・第 2 回をオンラインで、第 3 回を会場で実施します。

・日程(ミックス講座):

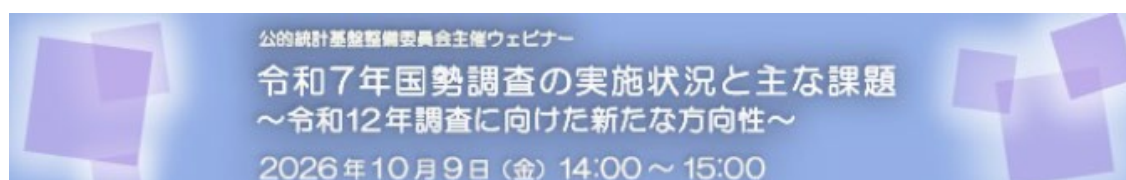
第 1 回: 2026 年 10 月 7 日(水) 13:00～16:30

第 2 回: 2026 年 10 月 14 日(水) 13:00～16:30

第 3 回: 2026 年 10 月 21 日(水) 又は 28 日(水) 10:00～17:00

・会場: 第 1 回・第 2 回: Zoom ミーティング、第 3 回: JMRA 研修室

[詳しくはこちら](#)



●2026 年度 公的統計基盤整備委員会主催ウェビナー

第 1 回「令和 7 年国勢調査の実施状況と主な課題～令和 12 年調査に向けた新たな方向性～」

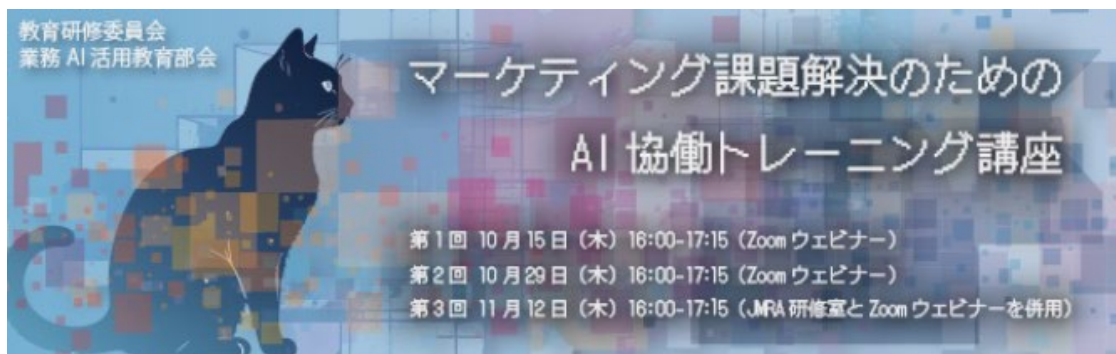
総務省では、令和 7 年 10 月 1 日を期日として、日本国内に住む全ての人と世帯が対象となる令和 7 年国勢調査を実施しました。

本講演では、令和 7 年国勢調査における主な取組や調査実施上の課題、これからの国勢調査の在り方や方法について、ご説明します。

・日程:2026 年 10 月 9 日(金)14:00～15:00

・会場:Zoom ウェビナー

詳しくはこちら



●マーケティング課題解決のための「AI 協働トレーニング講座」

若手、中堅、ベテランの『AI との協働。』という新しい業務スタイルを構築するための講座です。AI を有効に活用するうえでの三本柱、相談する習慣・伝える言語化・渡すための分解・構造化を、具体的なリサーチ実務を通じて鍛えます。

決して生成 AI の「使い方」を覚える講習ではありません。「使い方」という言い方では受け止められない「仕事のやり方」の変化を学びます。また、ベテランの知見・経験を生成 AI に委ねることもできます。タスクの着手段階から、まず AI に相談しながら進め方を考える—その動作を、日々の業務に定着させる行動変容プログラムです。調査企画の壁打ち、調査票のドラフト、自由回答のアフターコーディング、ファインディングスの抽出、報告書サマリーの執筆—リサーチ業務は言語化と構造化の連続で、本来 AI と相性の良い仕事です。

本講座は、(1)いつ相談するか(習慣)(2)どう伝えるか(言語化)(3)何を渡すか(分解)の三本柱で、その相性を実際の成果に変えます。

演習はすべて講座が用意するダミー題材で行い、実データは使いません。使用ツールは実務で使えることが望ましいため、業務環境で利用が許可されるものをご準備いただくことをお勧めします。

・日程(ミックス講座):

第1回:10月15日(木)16:00～17:15

第2回:10月29日(木)16:00～17:15

第3回:11月12日(木)16:00～17:15

・会場:第1回・第2回:Zoom ウェビナー、第3回:JMRA 研修室と Zoom ウェビナーを併用

[詳しくはこちら](#)

多様なマーケティング・リサーチの 新潮流に触れる 著者が語るシリーズ2026【ウェビナー】

第3回

11.5
(木)

●セミナー委員会主催セミナー:著者が語るシリーズ 2026

第3回 新版「欲しい」の本質 人を動かす無自覚な欲求「インサイト」のを見つけ方
市場の成熟化、コモディティ化が進む中で、ヒットを生む鍵として注目されている「インサイト」。本書は、豊富な実績を持つインサイトの第一人者が、業務においてインサイトを活用・実践するためのノウハウを詳細解説します。

インサイトの見つけ方から活用方法まで磨き上げ、体系化したロジックと、それを実践する具体的な方法論を紹介しています。

売れなくなっている商品を再生したい、イノベーションを起こす商品・事業を開発したい、今までにないアイデアを考案したい、そんなすべての方に役立ちます。

・日程(ライブ配信):2026年11月5日(木)12:00～13:00

・会場:Zoom ウェビナー

[詳しくはこちら](#)

教育研修委員会
業務 AI 活用教育部会

リサーチのための
AI に書かせる
プログラミングとデータ処理講座

- ・第1回 11月17日(火) 16:00～17:30 (Zoom ウェビナー)
- ・第2回 12月1日(火) 16:00～17:30 (Zoom ウェビナー)
- ・第3回 12月15日(火) 16:00～17:30 (JMRA 研修室と Zoom ウェビナーを併用)

●リサーチャーのための「AIに書かせるプログラミングとデータ処理」講座

クライアント保有データをクラウドの AI に直接渡せない場面は多い。結果としてリサーチャーの現場での生成 AI の活用は進まない事になりがちという話を聞きます。

しかし、リサーチャーが直接プログラミングできるとなると話は別です。生成 AI によるコーディングエージェントが登場したことで、IT エンジニア、プログラマの仕事のあり方が大きく変わりつつあります。

AI に作成したい内容をつたえて AI にプログラムを書かせるという方法があまりにも効率的であるために、自分では一切プログラムを書かなくなったという有名なエンジニアもたくさんいます。

この AI にプログラムを書かせて、データを処理するというアプローチは、リサーチ現場での AI 活用を進化させる可能性があります。つまり AI はデータを見ない。AI が書くのはコードであり、データに触れるのは手元の実行環境ということです。

本講座は「もっと高度な AI 活用」を教える上級講座ではなく、リサーチャーにとって距離があったプログラミングを AI で上手に活用できるようにする方法を教える講座です。

・日程(ミックス講座)：

第 1 回：11 月 17 日(火)16:00～17:30

第 2 回：12 月 1 日(火)16:00～17:30

第 3 回：12 月 15 日(火)16:00～17:30

・会場：第 1 回・第 2 回：Zoom ウェビナー、第 3 回：JMRA 研修室と Zoom ウェビナーを併用

[詳しくはこちら](#)

お知らせ

●第 11 回 フットサルリサーチカップ開催のご案内(会員社対象)

JMRA 会員有志による恒例の「フットサルリサーチカップ」が、今年も開催されます。第 11 回となる今回は、2026 年 12 月 5 日(土)に、J-SOCIETY FOOTBALL PARK 多摩で実施します。屋内・屋根付きコートのため、天候や冬の寒さを気にせずプレーできるほか、土曜日開催のため、翌日の日程にもゆとりを持ってご参加いただけます。参加費は 1 チーム 1 万 5 千円を予定しており、1 社につき最大 2 チームまでのエントリーも検討されています。

本大会は、フットサルを通じた会員企業間の交流と懇親を目的とした、有志による自主運営の大会です。社内の皆様にお声がけいただき、この機会にぜひご参加ください。

[詳しくはこちら \(PDF : 116KB\)](#)

10月18日 統計の日のご紹介



●統計の日(10月18日)のご案内

10月18日は「統計の日」です。総務省を始めとする各府省や地方公共団体では、統計の重要性に対する国民の関心と理解を深めるため、10月18日を中心としてポスターを作成するなどの広報活動を行うほか、講演会や展示会の開催、統計功労者の表彰等の諸行事を実施します。

詳しくはこちら（外部サイト：総務省）

●10月号は10月20日(火)発行予定です

巻末コラム 小さなオフィスから

夏から秋に季節が移ろいでいます。

近所のコンビニで、雑誌売場がずいぶん小さくなっていることに気が付きました。その代わりに目立つのは Google や Apple などのプリペイドカードです。かつて私も少し緊張しながら Google のカードを購入しましたが、それが雑誌売場の風景を変えるほどの力を持つとは想像していませんでした。

この夏、映画館ではポップコーンの注文もセルフオーダーでした。便利な技術は身近になり、気温は上がり、人は減っていく。そんな中で、「20世紀と同じ夏休みなわけがない」とふと思いました。

目の前の小さな変化は、その時にはただの日常に見えます。けれど後から振り返ると、社会の前提が変わり始めていたサインだったのかもしれません。

◆このメールはメルマガをご登録されている方に配信しています。

◆配信停止を希望される方は以下よりお願いいたします。

https://y.bmd.jp/bm/p/f/s.php?id=jmra_mm1130&mail=aso%40jmra-net.or.jp&no=382409

※JMRA セミナーを受講中の方、JMRA の会員窓口ご担当者様、委員会等に参画されている方が本機能により配信停止を行った場合、セミナーや委員会等に関するご案内も併せて停止されます。メルマガ以外のご案内を引き続きご希望の場合は、以下の配信元アドレスまでご連絡ください。

◆このメールは送信用アドレスから配信しているため、ご返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。

◆プライバシーポリシーは [こちら](#)をご覧ください。

◆配信元: 一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 1-9-9 石川LKビル 2 階
<https://www.jmra-net.or.jp/>
office@jmra-net.or.jp

あなたの中に未来がある。